

事務局長	合議
立命館大	立命館大

1971.12.5・産経・海26(旅食)△

年末年始の料理

立命館大

留学生は日本の年末年始の食文化を樂しみやうと、立命館大学ひわい・じゅりつキャンパス(草津市野路東)で4日、調理体験

イベントが開かれた。留学生たちは慣れない手つきで包丁を握り、日本の伝統料理に挑戦した。

県旅館ホテル生活衛生同業組合などの協力を受けて開催。県内4つの大学から約20人の留学生が参加した。留学生たちは、旅館やホテルの料理人からアドバイスを受け、梅の花の形にニンジンを切る飾り野菜や、大根のかつら剥きなどを体験した。



和食作りを体験する留学生たち

その後、年越しや三つ葉を丸く結んだ「三つ葉」を願う意味がある。三つ葉が縁起の良いことから、新年を祝う席で使われる」

立命館大学大学院博士課程後期課程のマスター・マンスリーモン(4)は「黒豆の松葉巻しなど食材を表して盛り付けられた日本のお祝いの盛り付けがございました」と歎美ほめた。

なごみ解説を受け、試食した。

アフカ(スタン出身の立命館大学大学院博士課程後期課程のマスター・マンスリーモン(4)は「黒豆の松葉巻しなど食材を表して盛り付けられた日本のお祝いの盛り付けがございました」と歎美ほめた。